



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2015.3.20 Vol. **143**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 卒業

目次

平成26年度 学位記授与式 学長式辞	1
平成26年度 学位記授与式 理事長挨拶	2
学生表彰	3

失敗を恐れず、 強い意志を持って！



平成26年度 学位記授与式 学長式辞

福山大学 学長 松田 文子

皆さん、ご卒業おめでとうございます。在学中にはたくさんのごことを学び、経験し、多くの人間関係を築かれたことと思います。それらを糧として、社会に出た皆さんが大きく花開かれることを、ここから期待しています。そして、ご臨席いただいておりますご家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。ご家族の皆様の長きにわたる物心両面でのご支援にここから感謝申し上げます。

思えば、多くの皆さんの入学の直前に東日本大震災と福島第一原発事故があり、入学式では亡くなられた方々に心からの哀悼の意を表してから式の開始であったように思います。皆さんが大学で学んでいる間も、大震災からの復興はなかなか進まず、原発事故の後始末も相変わらず綱渡り状態が続いています。さらに、台風、集中豪雨、それらの引き起こす土砂災害、あるいは思いがけない火山の噴火等々が人間の知恵や科学技術の進歩をあざ笑うがごとく、多くの人の命や平穏な生活を奪ってしまいました。こうした中で、皆さんは4年間あるいは6年間勉学を続け、本日卒業式を迎えることができたのです。自分の生きる力を誇りに思うと同時に、今日までの皆さんの勉学や生活を支えてくれた家族や仲間、そして社会の人々に感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。これからは、皆さんが社会に出て支える側に回ります。

では、皆さんがこれから出て行く社会は、というと、どうでしょう。頻発する自然災害に加えて、このところ世界も日本も、かなりぎくしゃくしています。皆さんが生まれた頃の1990年前後にベルリンの壁が崩壊し、次いでソビエト連邦が瓦解し、さらに今世紀に入ってインターネットによる若者中心の革命が独裁国家を倒すに及んで、これからの世界は民主主義を中心とする、ある程度秩序の保たれた方向に向かうかと一瞬思わせた時期もありましたが、その期待はそう簡単には実現せず、今はテロ組織や強いナショナリズムの台頭などにより、アメリカとソビエト連邦が鋭く対立していた東西冷戦時代以上に、暴力と混沌の中に入ってしまったように思えます。このような国際情勢は、このグローバル社会にあっては私たちの日常生活や仕事にも、もちろん影響を及ぼします。国内的には比較的等質な社会として戦後発展してきた日本ですが、このところ、経済的な格差、大都市と地方の格差、世代間格差等、様々な格差にさらされて社会がきしんできています。さらに、これから多くの先進諸国が遅かれ早かれ似たような状況に陥ると思われる未知の世界、すなわち技術革新とグローバル化の一方で少子高齢化と人口減、そして地域消滅となる、そういう社会の入り口を我が国は先進諸国の中で真っ先にくぐったところなのです。

そうした中で、福山大学がこうして若さと知力にあふれる若者約670人を世に送り出すことができることを、私ども教職員は心から喜び、誇りに思います。なぜなら、それは、まさに新たな「希望」を社

会に送り出すことだからです。今年の5月には、創立40周年を迎える福山大学は、皆さんを含めて34,000人近い卒業生を送り出したことになります。その中からは、すでに備後地域を中心に全国の様々な地域でリーダーや中核となって社会を担う人材が輩出しており、そこに皆さんは仲間入りすることになります。

しかし、先ほども述べたように、国際的にも国内的にも一段と「従来通り」が通用しない環境となっていて、皆さんは実社会に出ていきます。大学がユニバーサル化されたとはいえ、大学進学率は約50%、皆さんは同世代の約半数しか受けない高等教育を受けて、今大学を卒業し、実社会に出ていくのです。このような時代にあっては、学んだ1つ1つの知識や技能よりも、それをいかに状況に合わせて応用できるかが重要であり、さらにそれ以上に重要なのは、自分たちが生活するこの地域、生活するこの社会を自分たちで守り、自分たちで発展させるのだという強い覚悟と意志です。皆さんひとり一人の覚悟と意志によって、もっと人間味のある、もっと人と人のつながりを大切にしたい共同体感覚に満ちた文明社会を作ることができるはずです。

皆さん、大学では何を学びましたか、振り返ってみましょう。専門的な知識や技能はもちろん身につけました。情報リテラシーのような現代的教養も身につけました。それだけでしょうか。自己管理能力、企画力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、リーダーシップ、問題解決力といった汎用性のある力も身につけましたね。さらに、責任感、粘り強さ、倫理観というような態度も身につけたことと思います。これらのすべてをフルに活用し、さらに新たに学び、強化し続けて未知の世界に挑戦し、精神的に豊かな、そして持続可能な社会を作っていく、たとえ小さくともその一翼を担うことが福山大学を卒業する皆さんに課せられた使命です。それぞれの場所と部署で核となる人材となり、その地域を支え、そこから世界に発信し、ローカルにもグローバルにも活躍していただければ期待しています。

福山大学の建学以来の教育理念である「学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を実践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」の中で、今皆さんが大学教育の成果として手にしている自信と希望こそを、皆さんの心の軸として堅持し、共同体感覚を失うことなく、持続可能な未知の世界の形成に向かって失敗を恐れることなく挑戦し続けてください。心から期待しています。

では、皆さんのこれからのご活躍をここから願って、式辞を終わりとします。

平成27年3月20日



社会，地域の伸展に 貢献する人に



平成26年度 学位記授与式 理事長挨拶

学校法人 福山大学 理事長 清水 厚實

本日の記念すべき佳き日に、福山大学平成26年度卒業生のための式典が盛大に挙行されることになり、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん、よく頑張りましたね。おめでとうございます。また、本日のすばらしい卒業式に多くの保証人の皆様にご出席をいただき、卒業生とともに卒業を喜んでいただくことになり、ありがたく厚く御礼申し上げます。

保証人の皆様が大切にお育ていただいたお子様が成人式を迎え、立派な成人となり、社会人となって大学を卒業することになり、喜びも一入のことと改めて心よりお祝い申し上げます。

学校法人福山大学は、元文部省の大学学術局長でありました宮地茂先生が、大学の建学の精神として「人間の発達可能性を全体として調和的に実現していくことを目指す教育」即ち、ギリシャの哲学者プラトンやスイスの教育者ペスタロッチなどが称えるとともに、現在のわが国の教育基本法の基本精神となっている「全人教育」を教育理念とし、「国家、社会で活躍する有為な青年子女を育成すること」を目的にスタートし、今年で創立40周年を迎えることになったものであります。

大学の教職員は、創立者宮地茂先生教育理念にしたがい、すべての学生に対する学習指導、生活指導さらには就職・進学指導について心血を注いで指導し、立派な社会人とするよう努力してまいりました。改めて教職員の皆様のこの努力に心から感謝と敬意を表すものであります。

さて、わが国の政治、経済の状況であります。安倍内閣のアベノミクスとしての金融緩和、財政出動、成長戦略の基本政策が着実に進められ、経済の展望も明るくなりつつあるところでもあります。これを受け、今年の就職につきましては、就職を希望する者のほぼ100%が希望するところに就職することになりました。就職については学生本人の大変な努力に合わせ、大学の就職指導担当をはじめ、全教職員が真剣になって努力し、全国平均を遙かに上まわる実績を挙げており、保証人の皆様のご期待に応えることができたものと考えております。

学校法人福山大学は「地域・社会で働く中核的な人材の育成」を大きなミッションとし、地域、社会に貢献する有為な人材の育成を教育の重要な目標として掲げ、全学でためめぬ努力を重ねてまいりました。

ご承知のように経団連、日経連、商工会議所などの経済団体は企業等に貢献する人材として、①自分のしっかりした意見を持っていること、②仕事がきちんとできること、③リーダーシップの取れる人材で

あること、④上司や同僚などとのコミュニケーションがしっかり取れること、⑤課題を自ら見つけ、解決できる能力のある人材であること、⑥奉仕の精神で世のため人のために尽くすことのできる人—などを強く求めています。

また、企業の中には、その具体的な人材像として「自分で考え、しっかりと行動できる人」(三井物産、旭化成)「自分で考え、行動する個性豊かな人材」(東京海上)「課題形成・解決能力と対人関係能力のある人」(日本航空)「自分自身で常に高い意欲を持ち自ら仕事を創出し、その仕事に対して問題発見型の思考、特性で考え判断できる自律型人材であること」(資生堂)「指示を待つことなく、自分から何かを創り出していける人、また自ら向上させていこうとする意欲・姿勢を持った人」(日本IBM)などの人材を強く求めています。このことは、大、中、小企業に関係なくそれぞれの企業が強く求めている人材であると考えています。

学校法人福山大学で育てた卒業生の皆さんは、これらの企業などの期待に必ずや応える優秀な人材であるものと確信しておりますので、これからは企業人として大いにその能力を発揮していただきたいと念願しております。

さて、学校法人福山大学は、今年40周年を迎える重要な年となっております。ご承知のように18才人口は、かつて平成4年に205万人でありましたものが、平成26年には118万人とほぼ半分となり、今後は100万人前後を推移するといった大変厳しい状況になっております。

学校法人福山大学としては、このような状況を踏まえ、20年後、50年後のことを考え、長期ビジョン運営委員会を組織し、①学部、学科の再編、②教育改革の推進、③入試、就職対策の強化、④地域・社会との連携の強化、⑤国際交流の推進、⑥施設・設備の近代化などについて強力な対策を講じ、将来に備えることにしています。

なお、この改善、改革を進めるにあたっては、卒業生の皆さんに全面的なご協力をいただかなければならないとして、今般同窓会を組織しましたので、ぜひご参加いただき、ご支援、ご協力をお願いいたします。

卒業生の皆さん、大学で培った能力や資格などを活用し、社会、地域の伸展に貢献する有為な人材として活躍されますよう心より祈念し、卒業のお祝いの言葉といたします。

平成27年3月20日



●平成26年度 学生表彰者(卒業生・修了生)

【学長賞】

部 門	学部/研究科	学科/専攻	学年	氏 名
社 会 活 動	経済学部	国際経済学科	4 年	岡田 璃奈
ス ポ ー ツ	経済学部	経済学科	4 年	川越 竜磨
ス ポ ー ツ	経済学部	経済学科	4 年	峯 恭平
ス ポ ー ツ	経済学部	経済学科	4 年	木村 真登
ス ポ ー ツ	経済学部	経済学科	4 年	山本 翔太郎
社 会 活 動	人間文化学部	心理学科	4 年	藤本 悠未
学 業	工学部	電子・ロボット工学科	4 年	平田 光弘
学 業	工学部	情報工学科	4 年	大森 和洋
学 業	薬学部	薬学科	4 年	片山 佳織
学 業	人間科学研究科	心理臨床学専攻	2 年	王 晨
社 会 活 動	人間科学研究科	心理臨床学専攻	2 年	谷 尚美
社 会 活 動	人間科学研究科	心理臨床学専攻	2 年	西 侑紀

【奨励賞】

部 門	学部/研究科	学科/専攻	学年	氏 名
社 会 活 動	人間科学研究科	心理臨床学専攻	2 年	岡崎 美里

※受賞者については、平成27年3月20日(金)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行います。

●平成26年度 学生表彰者(在学生)

【学長賞】

部 門	学部/研究科	学科/専攻	学年	氏 名
学 業	経済学部	国際経済学科	3 年	郭 玥
ス ポ ー ツ				学友会 サッカー部
ス ポ ー ツ	人間文化学部	人間文化学科	2 年	野口 真奈美
文 化	人間文化学部	メディア情報文化学科	3 年	大宮 未来
学 業	薬学部	薬学科	5 年	高本 薫
学 業	人間科学研究科	心理臨床学専攻	1 年	後藤 貴行

【奨励賞】

部 門	学部/研究科	学科/専攻	学年	氏 名
社 会 活 動	人間文化学部	人間文化学科	3 年	曾根 有沙
文 化	人間文化学部	メディア情報文化学科	3 年	井上 めぐみ

※表彰式については、平成27年1月23日(金)に行われました。



松田文子学長 挨拶



人間文化学部 人間文化学科 野口 真奈美 挨拶



経済学部 国際経済学科 郭 玥



学友会 サッカー部



人間文化学部 人間文化学科 曾根 有沙



人間文化学部 メディア情報文化学科 大宮 未来



人間文化学部 人間文化学科 野口 真奈美



人間文化学部 メディア情報文化学科 井上 めぐみ



平成26年度 学生表彰者(在学生)

編集後記

小高い丘の上にある福山大学キャンパスでも、あちらこちらに春を見つけることができる季節になってきました。卒業生の皆さん、大学生活はいかがだったでしょうか？わずかな時間だったかもしれませんが、長い人生の中で大学生活のことが一番多く思い返されることでしょう。福山大学で学んだことを糧とし、社会でのご活躍を心より祈念して編集しました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>